

② 景観資源の状況

(a) 文献その他資料調査

a) 調査地域

調査地域は、対象事業実施区域からおおよそ3km範囲内とした。

b) 調査方法

対象事業実施区域周辺に存在する景観資源の分布等の状況について、文献その他資料に基づき調査した。

使用した文献その他資料は、以下のとおりである。

- ・埼玉県都市整備部田園都市づくり課ホームページ
「景観資源データベースシステム」（令和元年6月）
- ・「第3回自然環境保全基礎調査 埼玉県自然環境情報図」（平成元年 環境庁）

c) 調査結果

対象事業実施区域周辺に分布する景観資源は表 8-1-7-3 に、位置を図 8-1-7-3 に示すとおりである。

対象事業実施区域に最寄りの景観資源として、北側約1.1kmにある東武鉄道東武竹沢駅駅舎がある。

表 8-1-7-3(1) 対象事業実施区域周辺の景観資源

No.	名称	区分	景観資源の概要
1	雀川砂防ダム公園	公園・広場	方向/距離：南南東/3.7km
			町村名：ときがわ町
			昭和63年度に完成した重力式砂防ダムである雀川砂防ダムの建設に伴い、自然環境を保全することを目的にときがわ町（旧玉川村）により整備された公園である。 緑豊かな山並みと雀川の清らかな水に囲まれた園内では、咲き誇るアジサイの花や飛び交うホタル等、四季折々の自然を楽しむことができる。
2	割烹旅館二葉本店本館	建築物	方向/距離：東/1.9km
			町村名：小川町
			小川町駅から徒歩3分の場所に位置しており、県道駅通り線に面する。創業は寛延元年（1748）「忠七めし」で知られる老舗割烹旅館である。本館は当時における一流の用材と職人の手による数寄屋様式で造られている。 国の登録有形文化財に指定されている。

表 8-1-7-3(2) 対象事業実施区域周辺の景観資源

No.	名称	区分	景観資源の概要
3	カタクリとオオムラサキの林休憩所兼展示場	建築物	方向/距離：東南東/3.2km
			町村名：小川町
			<p>カタクリの群生地に、蝶のオオムラサキのおおらかさを屋根や構造材で表現した、休憩所を兼ねたオオムラサキの展示場である。国蝶であるオオムラサキをはじめ、世界中の蝶や昆虫が展示している。</p> <p>また、周りの豊かな緑とともに人々に憩いの場を提供している。</p> <p>平成5年度の彩の国景観賞を受賞している。</p>
4	小川町立図書館	建築物	方向/距離：東/1.8km
			町村名：小川町
			<p>和紙のまちとして古い街並みを残す小川町につくられたこの図書館は、白壁と瓦の蔵を外観のデザインモチーフとして環境になじませている。ガラスに和紙を挟んだり、床や壁に地元産の青石を使う等、町民に親しまれる配慮がなされている。</p> <p>平成13年度の彩の国景観賞を受賞している。</p>
5	東武鉄道東武竹沢駅駅舎	建築物	方向/距離：北/1.1km
			町村名：小川町
			<p>駅の両側に高低差があるため、高い方の屋根は周辺の山並みになじむよう丸みを帯びた段々とし、低い方の屋根は水平性を強調した軽やかなデザインとする等、それぞれの立地を考慮して計画された。外壁は下見板を用い、全体をグレー系の色でまとめ、落ち着いた雰囲気仕上げています。</p> <p>平成9年度の彩の国景観賞を受賞している。</p>
6	細川紙紙すき家屋	建築物	方向/距離：南西/2.8km
			町村名：東秩父村
			<p>17世紀末（江戸時代）に建てられた、紙漉き農家を移築・復元した建物である。</p> <p>近世～近代において細川紙の紙漉きが盛んに行われていた頃の一般的な紙すき家屋である。寄棟造り、茅葺きの中規模農家であり、細川紙手漉和紙関係用具の収集の一環として、大字奥沢の江原義貞氏から東秩父村が譲り受け、移築復元したものである。</p> <p>埼玉県指定有形民俗文化財として、昭和49年3月8日に指定されている。</p>

表 8-1-7-3(3) 対象事業実施区域周辺の景観資源

No.	名称	区分	景観資源の概要
7	古寺鍾乳洞	鍾乳洞	方向/距離：南/2.0km
			町村名：小川町
			古寺鍾乳洞は下古寺の槻川の支流で、金嶽川左岸の山際にあり、長さ約 50 メートル、高さは約 1～6m である。「新編武蔵風土記稿」にも「岩窟」と紹介される等古くから「名所」として知られる。

注：図中番号は、図 8-1-7-3 に対応する。

出典：「景観資源データベースシステム」（令和元年 6 月、埼玉県都市整備部田園都市づくり課 HP）

：「【砂防施設】 雀川砂防ダム [ときがわ町]」（平成 27 年 3 月、埼玉県県土整備部県土整備政策課 HP）

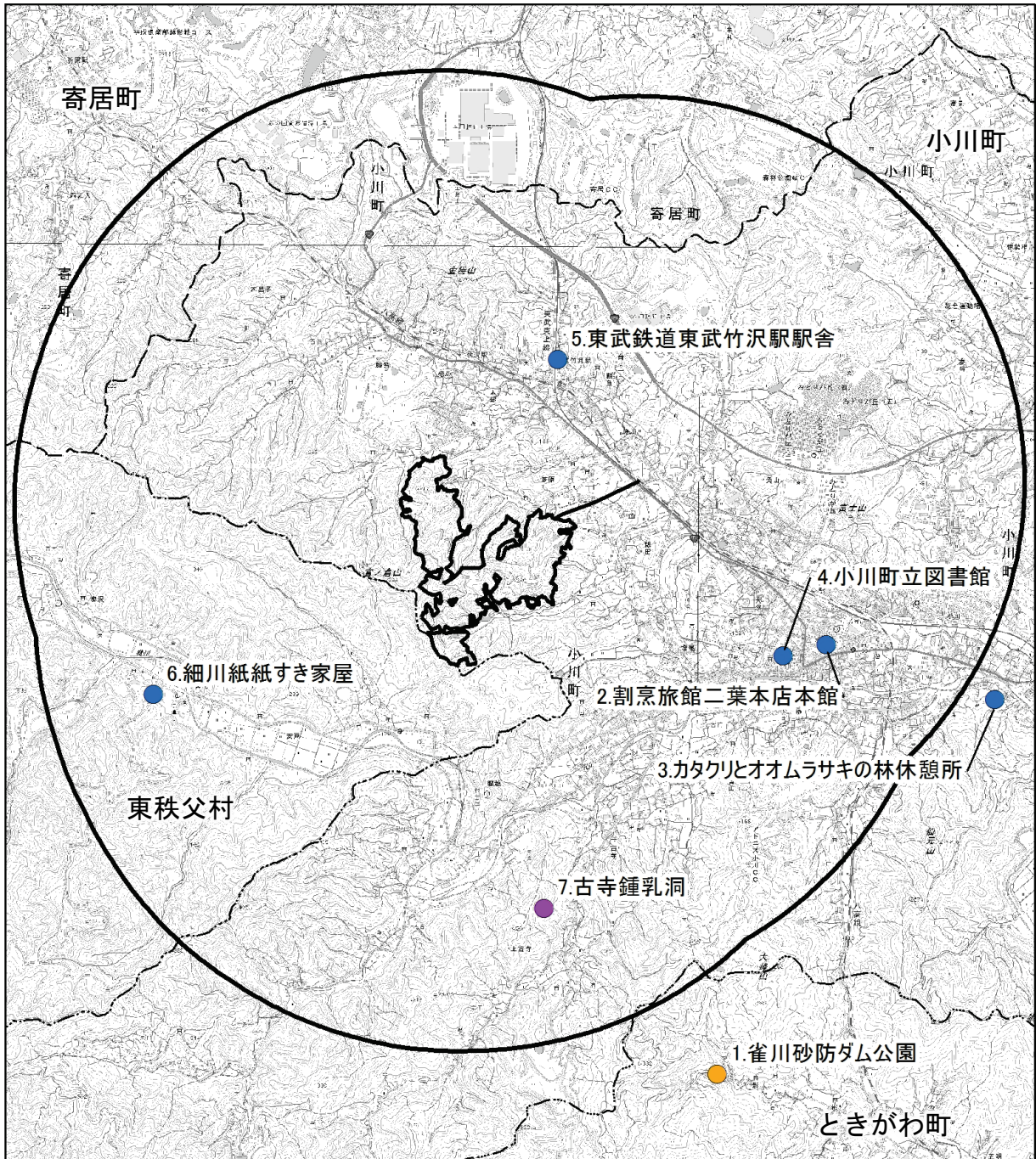
：「割烹旅館 二葉」（小川町観光協会 HP）

：「カタクリとオオムラサキの林」（小川町にぎわい創出課 HP）

：「細川紙紙すき家屋」（平成 17 年 6 月、東秩父村 HP）

：「第 3 回自然環境保全基礎調査 埼玉県自然環境情報図」（平成元年 環境庁）

：埼玉新聞 平成 30 年 9 月 6 日記事



凡 例

□ 対象事業実施区域及び関連施設

○ 対象事業実施区域外周より半径3.0km

--- 町村界

景観資源

- 公園・広場
- 建築物
- 鍾乳洞

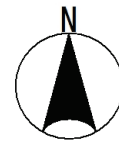
注：図中番号は、表 8-1-7-3 に対応する。

出典：「景観資源データベースシステム」

(令和元年 6 月、埼玉県都市整備部田園都市づくり課 HP)

：「第 3 回自然環境保全基礎調査 埼玉県自然環境情報図」

(平成元年 環境庁)



1:50,000

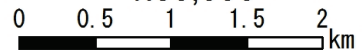


図 8-1-7-3

景観資源

③ 主要な眺望景観の状況

(a) 現地調査

a) 調査地点

調査地点は、「①主要な眺望点の状況」で抽出した14地点のうち、対象事業実施区域からおおよそ3km範囲内に位置する、もしくは、可視領域内に位置する地点とし、「図中番号6 三ヶ山緑地公園」を除く、13地点とした。

b) 調査期間

調査期間は、表 8-1-7-4 に示すとおりであり、落葉期及び着葉期の好天日を対象として調査を行った。

表 8-1-7-4 主要な眺望景観の状況の調査期間

区分	調査期間
落葉期	令和2年1月30日(木) 令和2年1月31日(金) 令和2年2月18日(火) 令和2年3月3日(火) 令和3年1月19日(火)
着葉期	令和2年8月6日(木) 令和2年8月7日(金) 令和2年8月20日(木)

c) 調査方法

主要な眺望景観の状況について、現地踏査を実施し、目視確認及びカメラによる写真撮影を行った。

なお、写真撮影の条件としては表 8-1-7-5 に示すとおりである。

表 8-1-7-5 写真撮影の条件

項目	撮影条件
カメラ機器	Canon EOS Kiss Digital X
使用レンズ	29~216 mm (35 mm 判換算)
焦点距離	29 mm (35 mm 判換算)
撮影の高さ	地盤+1.5m

d) 調査結果

主要な眺望点及び日常的な視点場における眺望景観の概況を表 8-1-7-6 示す。

表 8-1-7-6(1) 主要な眺望景観の概況

図中番号	主要な眺望点	位置	利用形態	景観の状況	
1	見晴らしの丘公園	方向： 西北西 標高： 299m 距離： 3.5km (遠景)	レクリエーション	落葉期	
1	眺望景観の概況： 対象事業実施区域から東南東方向約 3.5km に位置している。公園内にある展望台では視野を妨げるものがなく視界が開いているため、遠くまで見渡せる。 対象事業実施区域は視認できるが、遠景域のため山の輪郭がやっと分かる程度である。			着葉期	

注1：表中の図中番号は図 8-1-7-1 中の数字に対応する。

注2：方向は主要な眺望点から対象事業実施区域を望む方向、距離は対象事業実施区域から主要な眺望点までの距離。

注3：距離区分は、近景：400m程度以内、中景：近景域以遠～2.8km程度、遠景：中景域以遠とした。